

## 飛騨地域の農業を学ぶ、校外学習に行ってきました

6月の24～25日、本校2学年生が地域の農業の実際を学ぶため、一泊二日の日程で飛騨地域の視察研修を行いました。

一日目は、始めにJAひだ本店の会議室をお借りして、高山市、飛騨市、JAひだ、飛騨農林事務所の4機関から、管内の概要や農業支援策、特に新規就農者に対する支援策等についてお話を頂きました。園芸・畜産を中心に県内でも農業生産の盛んな地域でもあり、新規就農者支援も各種行われていることから、研修施設の概要や、就農後の支援策について、いろいろな質問が出される等、学生の関心の高さが伺われました。

その後、県指導農業士の「垣根真吾氏」のトマト・メロンほ場を視察させて頂くとともに、ご子息の伸一郎氏の畑では、スマホを利用したハウス内気象の即時観測や、液肥自動灌水装置など、最新のスマート農業の一端を見学させて頂き、学生達は大変興味を示していました。

次に訪問させて頂いたのが、H19に農大を卒業後いろいろな経歴を経て、H29から独立自営就農した大前氏のハウスで、独立自営するまでの経緯や苦労話等を伺いました。販売戦略の考え方等、学生にとっては目新しい取り組みとして学んでもらえたものと思います。

二日目は、宮川朝市・陣屋前朝市を見学後、飛騨酪農農業協同組合で牛乳加工の工場見学をさせて頂きました。畜産の学生でも、乳牛の飼育管理や搾乳までしか体験したことはなく、「実際に自分たちが搾乳している生乳が牛乳やヨーグルトに加工されているのを見るのは初めて」「こんな風にパッケージングされているんだ」等、普段見たことがない工場の風景に、興味深々でした。

最後に飛騨市にある県の中山間農業研究所を訪問しました。研究内容の説明に加え、果樹園まで案内していただき、モモやリンゴの試験ほ場を見学することができました。「農大生が果樹園を見学するのは、出来て以来初めてじゃないかな？」と担当の研究員の方がおっしゃる様に、大変貴重な体験となりました。

二日間の校外学習を通じて、飛騨地域の農業、地域の農業を引っ張ってみえる指導農業士等の皆さん、関係機関の職員の方々の取組等、その一部でも理解して、今後の自分たちの就農等に向けての参考になればと思います。



JAひだ職員の説明を聞く学生達（本店会議室で）



垣根伸一郎さんのトマトハウスの前で